

平成21年度富山市民病院経営改善委員会を開催

平成21年度富山市民病院経営改善委員会が平成22年1月18日（月）に開催されました。

経営改善委員会は、経営改善計画の策定と計画に基づく実績の評価、助言、指導等、病院の経営健全化を図る目的で設置され、平成20年度に計画が策定されてから最初の委員会となります。

今回の委員会では、今年度の経営改善状況の取組み、収支の概要に対する評価と翌年度の取組みについて審議されました。

今年度の取組みの概要

早期に取り組むべき目標と課題

◆早期に取り組むべき目標と課題は、かかりつけ医との連携を強化するなどの対策を講じ紹介患者の増加を図るなど8項目あり、病院全体で地域の開業医さんとの連携強化に努めた結果、概ね計画目標を達成いたしました。

20年度・21年度の比較 ▶
(4月～11月)

| 項目 | 20年度 | 21年度 | 比較増減 |
|-----------|--------|----------|-------|
| 一日平均外来患者数 | 988.6人 | 1,012.4人 | 23.8人 |
| 一日平均入院患者数 | 439.0人 | 449.5人 | 10.5人 |
| 新規入院患者数 | 5,754人 | 6,106人 | 352人 |

概ね3年間での達成を目標とする項目

◆医師、看護師等その他医療スタッフの育成と確保など6項目では、計画どおり達成できるよう取り組んでおり、特に医師や看護師の確保をさらに強化します。

収支の概況

◆病院事業の本体である医業収支は、病院職員が一体となって収益の向上に取り組んだ結果、平成21年度の医業収益は改善計画を達成できる見込みですが、医業外収支を含めた病院事業会計全体では、計画収支▲349,000千円より赤字額が96,000千円程度増加するものと見込んでいます。

平成22年度改善計画の取組み

◆平成22年度の改善計画の取組みは、今年度に取り組んで来た活動を継続するとともに、取組みが不十分であった項目について以下の取組みを実施します。

- ①DPCデータについて更に精査・分析を行いアクションプランの再設定や対応策の再検討
- ②平成22年度診療報酬改定に必要な対応や人員配置などの検討・実施
- ③医師・看護師の更なる増員、女性の働きやすい環境の充実
- ④材料費、委託料などの経費削減
- ⑤地方公営企業法の全部適用への移行準備
- ⑥実績管理や経営分析などを行う企画管理部門の設置

また、平成23年度に富山市救急医療センターの当院敷地への移転が予定されており、センターとの連携・運営 について協議を進めてまいります。

経営改善委員からの意見

◆計画初年度の当院の取組みについては、予想されない項目や不十分な項目もあったが、各部署で積み上げてきた実績が全体として計画以上の収益アップにつながった。引き続き取組みを継続して行ってほしい。

◆来年度は、①22年度の診療報酬の改定に対応した各部署の目標の見直し

②医師、看護師の確保

③働きやすい環境とアメニティの改善

などを進め、「この病院は明るい病院だ、いい病院だ」と言われるようにしていただきたい。

などのご意見をいただきました。

これからも、市民病院が“地域から最も信頼される病院”となるため、各部署が協力しながら目標の達成に取り組んでまいります。